



学校新聞
竜谷通信



令和8年5月
第2号

げんきな子
がんばる子
すなおな子
くふうする子



本日の献立は「高野豆腐の卵とじ」。「もっと食べたいな」と、元気におかわりします。

「いただきます」のその先に

校長 手島 露子

給食の時間は、教室ごとに、その学年ならではの姿や成長が見られる、学校生活の中でもとても大切なひとときです。

一年生の教室をのぞくと、支度のときに身に付けた可愛らしい三角巾やエプロン姿のまま、もぐもぐと一口一口を確かめるように丁寧に食べています。小さな体で、給食と真剣に向き合う姿には、思わず笑みがこぼれてしまいます。二年生になると、食べる量がぐっと増え、おかわりの時間を待ち構えて、我先にと並ぶ姿が見られます。体だけでなく心もたくましくなり、成長の確かさを感じさせてくれます。さらに上学年の教室では、給食はお腹を満たす時間であると同時に、教師や友達と語ったり、昼の放送に耳を傾けたりと、笑顔が行き交う温かな時間となっています。授業とはまた違った雰囲気の中、リラックスして交わす会話を通して、人との距離を自然に縮めていく、そんな素敵なおひとときです。

実は私自身は、子供の頃、給食が苦手でした。もともと少食で、食べるのもとても遅い子供だったので。今でこそ、そのような指導はありませんが、当時は給食を残すことはご法度で、休み時間になっても教室に残されて食べるグループの「常連」でした。教師になつてから、給食と久しぶりに再会したわけですが、先輩先生方のあまりの食べる速さに驚き、とてもついていけなかったことを今でもよく覚えています。しかし、一秒でも早く食べ終えたら、宿題の点検、次の授業の準備、子供の相談に向き合い：と、やるべきことに必死に向き合いながらの給食に自然と鍛えられ、今では自分でも呆れるほど速く、量もたっふりと食べられるようになりました。思えば給食は、食べる力だけでなく、生活力や環境に適応する力まで育ててくれた、ありがたい存在だったのだと思います。

コロナ禍の頃、黙って前を向いて食べる給食は、子供たちにとっても、私たち教師にとっても、苦しく味気ないものでした。だからこそ今、笑顔で机を向かい合わせ、「おいしいね」と言葉を交わしながら食べるのできる日常を、改めて幸せに感じています。給食に関わってくださるすべての方々への感謝を胸に、今日もおいしく「いただきます」。

竜谷学区大運動会 に向けて…



コロナ禍に、名称を「竜谷スポーツフェスタ」として実施してきた本校の学区共催行事。「スポーツフェスタってどのような取組ですか？」と外部の方から聞かれることもしばしばあり、今年度から従来の「**竜谷学区大運動会**」へと名称を戻しました。誰からも分かりやすい、学区の大切な行事の再出発です。

運動会に向けての準備は、多くの方々の支えによって進められています。校務員さんによる丁寧な観覧席の草刈り、教員補助者さんによる色鮮やかなポンポンづくり、そしてPTAの皆さんによるトラック内の草取りや整備と、それぞれの力が結集し、子供たちが安心して競技に臨める環境が整ってきました。本当にありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度も、各学年の表現演技や徒競走に加え、縦割り班によるリレーや応援合戦も行います。学区の方々が顔を合わせ、世代を超えた交流が生まれるとともに、全力で競技や演技に取り組める、素敵な時間となることを願っています。

まなびの 窓



田植えが終わったばかりの田んぼの横を歩きます



「龍泉寺」では、お堂の中も見せていただきました

有事に備え 様々な訓練



教職員の「さすまた訓練」



1年生も落ち着いて避難

本校では、昨年度に引き続き、年間を通して「様々な状況を想定する」ことを大切に、安全への備えを重ねています。まず4月には、地震後の火災を想定した避難訓練を行いました。続く5月の授業後には、岡崎警察署や市役所の担当課の方をお招きし、不審者対応訓練に先立つ教職員研修を実施しました。子どもたちは担任の指示をよく聞き、真剣な表情で落ち着いて行動することができました。教職員も互いに声を掛け合いながら対応を確認し、実践的な力を磨く、よい機会となりました。

今後も、ご家庭と連携しながら、子どもたちの安心・安全を支える取組を積み重ねてまいります。

ケーブルテレビ「ミクス (MICS)」制作の番組「学校インタビューズ」の取材がありました。5月25日(月)の9:15より随時放送予定です。

★ぜひご視聴ください★



上学年が優しく手ほどきしてツルを挿します

今年も「縦割り班」によるサツマイモのツル挿しを行いました。お芋ほりの学習を楽しみにしている1年生が何人もいます。たくさん収穫できることを期待します。